



◆8月のCP市場動向

8月末のCP市場残高は28兆1,758億円で前月比53億円増加した。前年同月比では3兆3,366億円の増加となり、先月に続き月末残高としての過去最高を更新した。発行市場は、企業の夏季休業の影響もあり月前半の案件数は限定的であったものの、企業の資金調達ニーズは底堅く月後半に向けて市場残高は増加し、8月29日には市場残高が29兆853億円と日次ベースでの過去最高残高を更新した。業種別残高では、一般事業法人が12兆5,536億円（前月比+773億円）、その他金融が11兆542億円（同+216億円）、金融機関が3兆115億円（同+85億円）とそれぞれ増加した。一方、ABCPは1兆5,565億円（同△1,021億円）と減少した。発行レートは、概ね0%から浅いプラス圏での出合いが中心となった。

なお、CP等買入オペの10月から来年3月までの1発行体当りのCP買入残高の上限は引き続き1,000億円に据え置かれたが、総発行残高に占める買入残高の割合は50%から37.5%へ変更された。

【業態別残高内訳】

(単位：億円)

業 態	8月末残高	7月末残高	増 減
一般事業法人	125,536	124,763	773
その他金融	110,542	110,326	216
金融機関	30,115	30,030	85
政府系金融	0	0	0
銀行等	7,129	6,829	300
証券	22,986	23,201	-215
A B C P	15,565	16,586	-1,021
計	281,758	281,705	53

(注：買入消却分含む)

【格付け別の発行レート】

格 付	1カ月	2カ月	3カ月
a-1+（一般事業法人）	0.000% ～ 0.008%	0.000% ～ 0.007%	0.001% ～ 0.002%
a-1（一般事業法人）	0.000% ～ 0.050%	0.000% ～ 0.004%	0.000% ～ 0.034%
a-1+（リース銘柄）	0.001% ～ 0.050%	—— ～ 0.004%	—— ～ ——
a-1（リース銘柄）	0.000% ～ 0.019%	0.002% ～ 0.018%	0.002% ～ 0.020%
a-2	0.020% ～ 0.150%	0.025% ～ ——	0.040% ～ ——

「CP 等買入オペ」

CP 等買入オペは、当初予定通り 2 回の合計 8,000 億円で実施された。9 日オファー分の結果は、応札額 1 兆 2,375 億円、按分レート 0%（平均レート 0.001%）、26 日オファー分は、応札額 1 兆 1,985 億円、按分レート 0.001%（平均レート 0.022%）に上昇した。按分レートがプラス圏となったのは 2 年 4 か月ぶり。

なお、買入オペ残高は 8 月末時点で 2 兆 8,423 億円となっている。

【CP 等買入オペ実績】

（単位：億円）

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
8月9日	8月15日	4,000	12,375	3,972	0.000%	0.001%	16.1%
8月26日	8月31日	4,000	11,985	3,985	0.001%	0.022%	6.5%

「短期社債登録状況」

証券保管振替機構によると、8月末時点における発行登録企業数は前月末から変わらず545社であった。

「CP 現先市場」

現先（S/N）レートは運用ニーズ変わらず、 $\Delta 0.05\% \sim 0\%$ 近辺での出会いとなっていた。

◆9月のCP市場動向

9月のCP発行市場は、事業法人を中心に中間期末の有利子負債圧縮目的で月末残高を調整する動きが予想される。一方、足許で続く円安・物価上昇等の影響を受けて企業の資金ニーズは底堅い他、CPは他の直接金融による資金調達手段と比較して、相対的に調達環境が安定していること等から月中は活況な発行が想定される。発行レートは、発行残高の多い銘柄や期間の長い銘柄を除けば、小幅なプラス圏での出会いが中心となることを予想する。

「CP 等買入オペ」

CP等買入オペは、9日と27日でそれぞれ4,000億円、合計8,000億円のオファー予定となっている。期末要因から期越物の発行の減少が見込まれる一方、CP市場残高は過去最高水準で推移しており、ディーラーによるオペ売却ニーズは底堅いと思われる。足切りレートは前回比横ばい圏内～やや上昇を予想する。

「CP 現先市場」

CP 現先レートは、 $\Delta 0.05\% \sim 0\%$ 近辺での出会いを予想する。

* 参考資料 (出所：証券保管振替機構)

【8月末発行残高 上位 10 社】

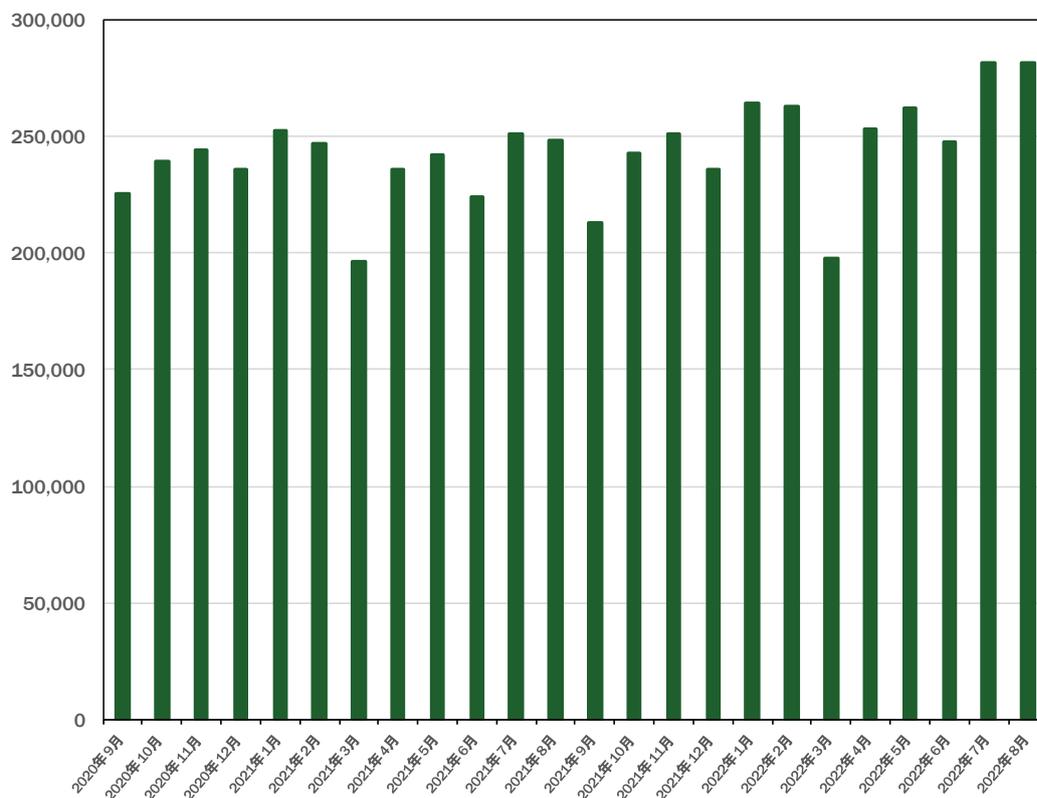
(単位：億円)

	発行企業名	8月末残高	7月末残高
1	NTTファイナンス株式会社	13,910	14,670
2	三井住友ファイナンス&リース株式会社	9,967	9,707
3	NTT・TCリース株式会社	8,260	8,130
4	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	7,623	8,100
5	三菱HCキャピタル株式会社	5,879	6,572
6	みずほリース株式会社	5,810	5,775
7	ENEOSホールディングス株式会社	5,450	5,780
8	日本製鉄株式会社	5,400	5,400
9	J A 三井リース株式会社	5,130	5,030
10	丸紅株式会社	4,980	4,480

【短期社債市場残高】

(2020年9月～2022年8月)

(単位：億円)



本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会